読者のみなさんでつくる

みんなの広場

「身近な出来事やイラスト」
「テーマトーク」募集中！

12月に寄せられたおたより

スキー

今年もスキーの時期がやってきました。私たち家族は毎年この時期になるとそわそわしてきて、早く山に雪が降らないかなぁと楽しみにしているのです。今年は主人が新しいウェアを買ったので、早く着たくて仕方ないらしいです。これからも健康と体調を整えながら、体力の続く限り頑張ってスキーを楽しみたいです。

小松市 あゆうママ

七尾市 ユカタンタン

お手伝い大好き

3歳の孫は、お料理しているとお手伝いしたがります。先日もカレー作りでルーを鍋に入れて混ぜ混ぜ。おいしいカレーのできあがりです。生協の配達日には「生協、生協」とママの荷物のお手伝いもしています。

能美市 ゆめ

金沢市 あーちゃん（6歳）

昆布締め 作ってみようかな

亡くなった京都の実家の父が大好きだった昆布締め、何年か前に作って帰省したら「おいしいおいしい」と言って食べてくれました。でも、作り方が合っていたのか自信が無く、とらいあんぐる12月号くらしぷらすの昆布締めの作り方を拝見し、これは作れと言われているみたいです！年末はこの作り方を参考に作ってみようかなと思います。

金沢市 じんちゃん

かほく市 みっちゃん

100日のお祝い

生後100日のお祝いにタイとハマグリを探していたところ、コープの店舗にあったので購入しました。お祝いごとにはコープが頼りになります。久しぶりの店舗では、3歳の娘がグズって床に寝そべって大泣きしてしまい、なかなか買い物が進まず大変でしたが、それを見ていたお客さんの1人が「頑張ったね。これしておいで」と、キャンペーンをしていた抽選券をくれて、お菓子のドーナツが当たり娘もホクホクでした。立派なタイと優しいお客さんとの思い出でお祝いすることができ、感謝しています。ありがとうございました。

野々市市 こともん

10年越しの念願

30歳を目前にして、初めて髪を染めました。大学入学あたりから憧れていたインナーカラー。色は緑です。10年越しに念願が叶いました！

金沢市 とももま

菊芋

ほったらかしにしていた庭に、気が付くとたくさんの菊芋が育っていました！小さなひまわりのような花を眺めるのが好きだったけど、その後にこんなにたくさんの芋が育っているとはつゆ知らず。食べ切れないので、知り合いの方に手伝ってもらいながら食べ切ろうと思います。

津幡町 ミニツン

祖母の昆布締め

10年程前に亡くなった祖母が、毎年お正月にお手製の昆布締めを作ってくれていました。とらいあんぐる12月号くらしぷらすの昆布締めの作り方を見て、手間暇かけて作っていたのだなと思い、懐かしくなりました。また、食べたいな。

白山市 みー

白山市 山のバーチャン

テーマトーク
今月は
甘い思い出

ズワイガニ

幼い頃、父のひざの上でズワイガニをむいてもらって食べました。父は底引船の船主で、船長でした。父が口に入れてくれたズワイガニの甘かったこと！幸せな時間でした。ズワイガニの時期になると懐かしく思い出します。

金沢市 あんず酒

ミカン

91歳の義父が30年前に、孫のためにと温州ミカンの木を植えてくれました。今年はミカンがたくさん採れたので、毎日毎日甘ーいミカンを食べることができます。温暖化の影響で、この北陸地方もミカンの産地になるのではと思います。

加賀市 じゅんこねーちゃん

あんこは父

若い頃は戦時中で、砂糖が貴重品だった時代を過ごしてきた亡き父。晩年は甘いおまんじゅうや、ずくしという熟した日本柿が大好きでした。小学生だった私はあんこが苦手で、おまんじゅうの外側を食べて、中のあんこを父に食べてもらっていたことが思い出されます。

能登町 さくちゃんの娘

風呂敷の中身

公園で待ち合わせをし、2人並んで記念撮影。彼は赤い友禅の風呂敷をそっと私の手に。公園を1周して喫茶店へ。コーヒーをごちそうになり、歩いて駅へ。彼は汽車に乗って帰っていきました。私は家へ戻って風呂敷を広げると、中からポロリと淡い紫色の指輪が落ち、びっくりしました。誕生石のつもりだったのかな？

珠洲市 とんちゃん

次回のテーマトークのお題は
これって私だけ？

まど

とらいあんぐるモニターによるエッセイ

白菜

書き人 マドーレ

ようやくわが家の白菜が食卓に登場した。思い起こせば、去年の夏は猛暑で夏野菜は7月早々に枯れ、その後も35℃超えの日が続いた。畑に出るのは危険とばかり、放っておいた。それでもお盆過ぎにはポットに白菜の種をまいた。1ヵ月後、育った苗を移植しようにも畑は草だらけ。厳しい残暑が続く中、水分と塩分、休憩を取りながら草取りに励んだ。やっと畑の準備ができたと思えば、今度は晴天続き。移植後は水やりが必須だ。近くに川がないので、雨の予報を待つしかなかった。結局、畑に植えたのは10月に入ってからだった。

「秋の1週間は冬の1ヵ月。2週間も後れたので今年は無理だろう」と夫は諦め顔だ。案の定、12月になっても緑の硬い葉が開いたままだった。ところが、年末の雪が解けて畑をのぞくと、40個のうち少し玉になったものがある。まだまだ緩い巻きだが、甘みはあった。いつもよりおいしく感じたのは気のせいだろうか。

くみかつレポーターによる活動報告 ぱれっと

地域協議会行事の報告「くみかつブログ」はコチラ

能登地域協議会 「苔玉のお正月飾りを作ろう」

くみかつレポーターのヒイラギです。苔玉って何だろうと参加しましたが、先生が材料を全部揃えて持って来てくださり、まずは黒松か斑入りのヤブコウジのどちらか好きな方を選びました😍先生は前で説明をしたり、テーブルを回って参加者に丁寧に作り方を教えてくれました😊26個の苔玉はそれぞれ個性的で、どれも可愛くできあがりました😊黒松も素敵ですし、先生が作った水引の飾りを横に置くと、一段と苔玉が可愛くなりました🤗

開催日 11月27日（月）
場所 羽咋勤労者総合福祉センター　参加者 26名
講師 教え合い講師 耕納 博美氏

南加賀地域協議会 「大人の森の工作教室」

くみかつレポーターのぽっちゃり猫です🐆職員の方がまつぼっくりやどんぐりなどいっぱいの材料を持って来ていただきました。里山の保全の為に整備して土砂崩れなどの防止をされており、そこで切った小枝などで素敵な作品ができました。家から飾り付けのパーツを持って来たり、用意されたリボン🎀や毛糸🧶で大作品にトライされた方もいました。とっても楽しかった時間でした〜♪

開催日 12月4日（月）
場所 小松センター　参加者 16名
講師 かが森林組合 職員